

for somebody



何かを祝う瞬間、人は、そこにいない誰かのことを想っている

Concept Story

啓 介 × 朝 子

啓介さんは、新卒で入社した商社で活躍をされている26歳。
朝子さんは、看護師を務める24歳。

付き合い始めて3か月で、子を授かったことをきっかけに結婚を決意。
両家の親御様の了承も得られる中、1つだけ出された条件が、
けじめとして、自分たちのお金で結婚式をすること。

おふたりとも、結婚式をするものともしないものとも思っていなかったようで、
全くイメージもできておらず、出産のことで頭がいっぱいで、
朝子さんの仕事も産休になるタイミングまでは休むことができない中で、
式をするなら時間が無いと焦ってもいて、本当にやるべきなのか悩んでもいらっしゃるご状況。

結婚式に対するイメージも

- ・自分たちがやりたいことは特にない
- ・ふたりの思い出もないことはないが、無理に結婚式で取り上げるほどのものはない
- ・やるなら親族はもちろん、お世話になっている職場の方々や、友人にもしっかりと報告をしたい
- ・それ以外のわざとらしい感じは極力避けたい
- ・予算もさほど潤沢ではない

とのこと。

そんなおふたりに、私たちが提案するのは、
主役のいない結婚式。

コンセプトは、[for somebody](#)

I : 安心して準備を進められるよう、WEBシステムを活用

結婚式の打合せは、会場で行うことが一般的ですが、体調に不安があり、かつ、お忙しいおふたりは、ご自宅で準備が出来ると安心でしょう。gensen weddingでは、スムーズに準備を進めるためのwebサービスを用意している会場も提携しているので、安心して打合せを進められます。

おふたりの、ために。



Ⅱ：親御様にけじめを伝え、家族になるための挙式

わざとらしい感じや、大げさな感じは、おふたりらしくないと理解をしております。
したがって、今回、提案する企画は極めてスタンダードなもの。
その中で、今回こだわっていただきたいことは2つ。
その1つが、「親御様に対するけじめとして挙式を行う」こと。
挙式は教会式と人前式がありますが、こだわりがなければ一般的な教会式をお勧めします。
親御様の、ために。

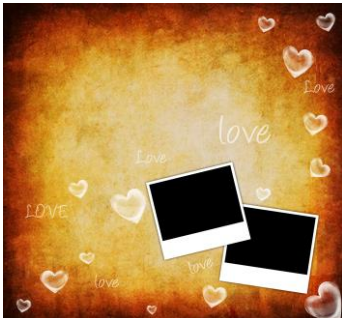


Ⅲ：お子さまを祝福する、未来のセレモニー

こだわっていただきたいことの**もう1つ**が、
これから生まれてくるお子さまへの演出を盛り込むことです。
おふたりが結婚式をする意義は、これから生まれてくるお子さまのため。
おふたりが挙式をしたばかりのチャペルを再度使用して、**未来のセレモニー**を行います。

- ・受付の際に、ポラロイドカメラで列席されたゲストの写真を撮影します
- ・パーティ会場のそばにペンを用意し、写真に、お子さまに対する期待を書いていただきます
- ・記録カメラマンがテーブルを回りコメントも集めます
- ・お肉料理が出たら、ゲストの皆さまにチャペルにご移動いただきます
- ・着席されたら、啓介さんから、以下の企画の説明を行ってください
- ・啓介さん、朝子さんから、1名ずつサプライズで指名していただき、ショートスピーチをお願いします
- ・両家の親御様から、未来のお子さまに対する想いをお話いただきます
- ・朝子さんから、未来のお子さまに対する想いを話してください
- ・啓介さんから、未来のお子さまに対する想いを話してください
- ・さいごに、皆さまからの応援をお願いしてください
- ・その後、おふたりのご退場の際に、お写真を集めて回ってください

結婚式後、集めた写真はアルバムにまとめて、スピーチの原稿と記録DVDと一緒に保管しましょう。
3年後、そのVTRとアルバムをご家族でご覧ください。会場に遊びにきていただくこともできます。
お子さま様の、ために。



Program

- 8:30 お仕度
- ヘアメイク
 - 挙式リハーサル
 - ゲスト受付
ゲスト来場時の受付で、ポラロイドカメラで撮影し、お子様への寄せ書きを書いていただきます
- 11:00 挙式
- 教会式
- 12:00 パーティー
- 新郎新婦がお迎え～乾杯～テーブルラウンド
子どものためという主旨を強く意識し、あえて新郎新婦の入場のシーンは設けずに、おふたりが先に披露宴会場でお待ちになっていて、ゲストを迎えるスタイルを提案します
(ご希望があれば入場のシーンを設けても良いと思います)
 - ケーキカット～歓談
親御様へのリクエストにお答えする形で、ケーキカットは両家親御様とご一緒されてはいかがでしょうか
 - プロフィールムービー～歓談
おふたりの子どもの時の写真だけでなく、親御様のお子どもの時の写真も交えたり、友人のお子さまの写真を中心に構成をされると、その後のイベントにつながるかと思えます
オンラインで安価に自前で作成できるサービスもあるので、その利用をお勧めします
 - チャペル移動～未来のセレモニー～歓談
チャペルへの移動は、啓介さんとお母さま、朝子さんとお母さまで先に退場されるのを見送った後、ゲストの皆さまに移動いただく順序をとることで、両家のお母さまとの時間を設けます
 - 新婦の手紙～両親への記念品贈呈～謝辞
謝辞ではぜひ啓介さんから親御様へのメッセージをお願いいたします
- 14:30 送賓
- 送賓

Program

進行	全体の雰囲気	親御様	ゲスト
招待状 おふたりとお子さまを祝福する場としての結婚式と記して招待状をお送りします	当日のイベントのアナウンス	—	当日の主旨の軽い理解
挙式リハーサル、ゲスト受付 ゲストの皆さまをパラロイドカメラで撮影	ラストセレモニーのための準備	ふたりの挙式にあたっての心の準備	"お子さまのため"の認識づけ
教会式	ふたりが家族になる誓い	ふたりのけじめの承認	出産を機に結婚をするふたりの誓いの証人に
新郎新婦がお迎え～乾杯～テーブルラウンド～ケーキカット～歓談 主賓の方には子どもへの言及をお願いしてもよいかと思えます	ふたりによるゲストのお迎え 家族成立の祝福	息子・娘の自立に対する受け入れ	新郎新婦とのコミュニケーション
プロフィールムービー～歓談	子どもがテーマであることを認識づけ		テーブルを超えた交流
チャペル移動～未来のセレモニー～歓談 チャペル移動時は、お母様と新郎新婦が見守られる形で先に移動し、啓介さん・朝子さんがチャペルでゲストをおむかえする形を作りましょう	子どもへのセレモニー	親子の絆の確認 (子どもとの中座)	ふたりの出産への祝福と自身の体験への置き換え
新婦の手紙～両親への記念品贈呈～謝辞	ふたりから親へのメッセージ ふたりから全員へのメッセージ 子どもに対する責任の芽生え	想いを受け取る	想いを受け取る
送賓	個対個でありがとうを	想いを受け取る	1対1で新郎新婦にメッセージを

主役のいない結婚式。

今回の結婚式は、おふたりの主役感が極めて少ない形でのウエディングを提案しています。
招待状から始まり、おふたりの挙式、披露宴の開宴、その後のイベント、
そのすべてが、**未来のセレモニー**に結びついていきます。

おふたりが、自分たちではなく、自分たちの子どものために準備をする。
未来のセレモニーでは、おふたり自らゲストに協力をお願いします。

何年後かに、3人でこの日の様子を、語ったり、アルバムやVTRを見て、
振り返る日がくるでしょう。その時、思うはずです。
「こんなに祝福されて生まれてきた子はいない」、と。

今回の結婚式のコンセプトは、**for somebody**

このおふたりの様子を見ているゲストは、
その1人1人が、そこにはいない誰かに想いを馳せることになります。

おふたりの親御様は、おふたりが生まれる前の気持ちを
お子さまのいらっしゃるゲストは、子どもが生まれてくる時の気持ちを
友人にとってのそれは、自分の親への気持ちを

列席するすべての方々にとっての“誰かのため”になる時間になります。
それが「主役がいない」の、本当の意味。

「幸せのお裾分け」とは、ふたりの結婚の幸せを、わざわざ見せつけることではない。
誰かのお祝いが、ひとりひとりがそこにはいない誰かに想いを馳せて、
いかに自分が恵まれているかを確認する場になること。
それこそが、幸せのお裾分けの本質。

この結婚式を、そんな場に。

Decoration

Key Color

テーマの1つである、水を意識して、白とクリアブルーをベースにしたコーディネートをご提案します。



Coordinate Image



gensen wedding